

OECD 地域開発政策委員会 (RDPC) 第 4 回閣僚級会合 プログラム

日 程：2019 年 3 月 19 日（火）、20 日（水）

場 所：ギリシャ・アテネ メガロン国際会議センター

全体テーマ：「メガトレンド：地域・都市・農村のためのよりよい未来の構築」

参 加 者：OECD 加盟国等の地域開発担当大臣等

議 題：

① 「国際的なメガトレンドの地理学」（19 日 12:45～13:30）

世界をとりまく中長期的な潮流（メガトレンド：グローバル化、デジタル化、人口変動、気候変動、資源不足、都市化等）が地域・都市・農村にもたらす影響について議論する。

② 「過去の振り返りと将来の展望」（19 日 15:00～17:00）

RDPC の発足以来、20 年間にわたり蓄積されてきた成果・教訓を振り返るとともに、今後メガトレンドに対応していくために必要な取組について議論する。

③ 「デジタル・グローバル経済における地域政策」（20 日 9:00～10:30）

デジタル化・グローバル化が地域・都市・農村にもたらす機会と課題、それに対応するための政策のあり方について議論する。

④ 「全ての人・地域の包摂：人口・社会変動のマネージメント」（20 日 11:00～12:30）

人口・社会変動が地域・都市・農村にもたらす機会と課題、それに対応するための政策のあり方について議論する。

⑤ テーマ別会合（20 日 14:00～15:30）

A) 「スマートな質の高いインフラへの投資」

メガトレンドがインフラ需要や地方財政にもたらす影響を整理した上で、地域レベルでの質の高いインフラ整備推進のために必要な政策について議論する。

B) 「草の根からの SDGs に向けた政策の再考」

持続可能性を地域政策形成の重要な視点とするための方法に加え、循環型経済を推進するための国と地方の協力手段について議論する。

⑥ 今後に向けて（20 日 15:30～17:30）

RDPC における政策に関するこれまでの知見が盛り込まれ、メガトレンドによる変化への備えとなる文書として、「都市政策の原則」及び「農村政策の原則」の案について議論するとともに、本会合の総括を行う。

第7回 OECD 市長と閣僚の円卓会議 プログラム

日 程：2019年3月19日（火）

場 所：ギリシャ・アテネ メガロン国際会議センター

全体テーマ：「市長、閣僚、メガトレンド～共同の取り組みのための原則～」

参 加 者：世界各国の首長数十名（※）及び上記 RDPC 閣僚級会合参加者

※日本からは富山市（森市長）、福岡市（高島市長）が出席予定

議 題：

① オープニング（9:00～10:00）

ヨルゴス・カミニス アテネ市長、ヤニス・ドラガサキス ギリシャ副首相兼経済開発大臣、アンヘル・グリア OECD 事務総長による開会挨拶

② 「政府のレベルを超えた都市政策の共同立案」（9:30～10:30）

メガトレンドに備えた都市政策の構築のため、国と地方がいかに共同で政策立案できるかについて議論する。

③ 「国と地方の都市政策の橋渡し的手段」（10:30～11:30）

能力・資金等の確保や、都市政策の実行のため、国と地方がいかに協働できるかについて議論する。

④ 「今後の道を描く～OECD 都市政策の原則のためのアクションプラン」（11:30～12:00）

「都市政策の原則」案に関し、それを実行する方策について議論する。